

# 宮城県宗務所報

発行所

曹洞宗宮城県宗務所

仙台市泉区市名坂字檜町169-4

TEL 022(218)3801

FAX 022(218)3803

e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp

発行者 所長 三田村 道雄



(高崎山 化度寺)

草木が見渡す限り緑色に染まり、和風山野を廻る時節、管内各寺院諸老師、山内ご一同様におかれましては、益々ご清祥のことと拝察し大慶至極に存じます。

平素より宗務行政に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

三月一六日発生の福島県沖を震源とする地震の際には、管内においても震度六強が観測される等、多くのご寺院様が災害に遭われました。罹災されましたご寺院様、檀信徒皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、早期復興をお祈り申し上げます。

昨年度を振り返りますと、またもや新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でもございました。コロナ禍においては、大部分の事業が中止及び延期となりました。その中においても、感染拡大防止に充分配慮し、インターネットを駆使しての会議及び現職研修会等、梅花関係においては、師範会のご協力のもと、検定会及び若干の教区ではありますが、宗務所講習会を実施することができました。



ご挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

三田村 道雄

令和四年度の事業並びに予算につきましては、去る三月一五日「定例予算所会」においてご審議をいただきました。コロナ禍を鑑み、特派布教道場・梅花流特派講習会は中止となりましたが、梅花流創立七〇周年記念県奉詠大会につきましては、次年度へ順延とさせていただきます。予算につきましては、財源確保を考え、寺格賦課金を復活させていただきました。寺院賦課金は前年同様減免とさせていただきます。所会議員全員のご承認を賜わり、現在事業展開及び予算執行中でございます。

「光陰は矢よりも迅かなり」宗務所の任期も半年となりました。

今後も関係各委員会と協議し助言を賜りながら、様々な方法を模索しつつ、職員一丸となって誠心誠意努めてまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

時節柄、皆様の山門興隆・身体堅固ならんことをご祈念申し上げます。

合掌

# 令和四年度現職研修会 報告

曹洞宗宮城県宗務所 教化主事 東海泰典

本年度の研修会は会場を仙台 教の心得のご講演を頂いた。

秋保「ホテルニュー水戸屋」と 二日目は大和証券(株)佐藤泰之先生のご講演 (p4・5参照)

催した。参加方法は①宿泊②通いと元総合研究センター 深澤亮道師の人権学習「SNS時代に

の三種類とした。企画の段階からコロナ状況や昨年より年度に 気をつけなければならない事」(p3参照)を行った。

一回の開催とした為、より多くの申し込みが出来る方策を検討した。 昨年はリモートのみの開催で、参加人数は少なかったが、今回は百名を超える参加を得た。今後はコロナ禍に関係なく、学習の持ち方にもZOOMなどを活用した運営が必要になってくる事を痛感した。

初日は元特派布教師・静岡県成願寺住職の相原昇明老師をお迎えし、一、令和四年度管長告諭について。二、コロナ禍の布

## 講師紹介



佐藤泰之氏

大和証券(株)  
法人コンサルティング部  
法人開発課



深澤亮道師

元総合研究センター  
岩手県歓喜寺徒弟



相原昇明老師

元特派布教師  
静岡県成願寺住職

## SNS時代に気をつけなければならないこと



元総合研究センター 所属

深澤 亮 道

SNSとは「ソーシャル・ネットワーク

キング・サービス」を略した言葉であり、インターネット上で、個人同士が繋がれる場所を提供しているサービスの総称です。代表的なもので、Twitter、Facebook、Instagram、LINE、TikTok、clubhouseなどが挙げられます。スマートフォンが普及し、さらにコロナ禍において人との接触機会が少なくなった今、SNSは私たちの生活でなくてはならないものとなりました。利用者は若年層だけでなく幅広い世代で増加の一途を辿り、また企業も商品やサービスの広告宣伝の一環としてSNSを活用しています。

これまで私たちが、情報を入力する手段はテレビやラジオ、新聞などのメディアが主流でした。しかし、SNSを利用することにより、マスメディアより多くの情報を瞬時に得られ、さらに発信者と双方向に情報を共有でき

るようになりました。

東日本大震災や日本各地で起こる災害の際には、被災状況や安否確認をすることができ、また多くの団体がSNSを通じて、ボランティアの呼びかけを行いました。コロナ禍においては、各寺院、各宗侶がオンラインで法要や坐禅会、法話などを配信し、檀信徒と繋ぐツールとして大きく活用されました。このようにSNSには、個人が自らの知識、経験、感情を自由に発信することができ、そして、いつでもどこでも情報を共有し、世界中の人と繋がれるという利点があります。

その一方で、SNSには悪い面も存在しています。まずは情報の信頼性に欠けるということです。熊本地震の際には「ライオンが逃げ出した」という写真付きの投稿が拡散されたり、コロナ禍において「自分の住んでいる街がロックダウンするかもしれない」という情報が広まったり、人々が混乱を招

くことがありました。誰でも発信できるということは「誰でも根拠のない情報を拡散できる」ということでもあります。明らかに悪意のある投稿であれば、疑うことは可能ですが、親しい人から情報共有された場合、真偽の判定が難しくなってしまう。

また、SNSを通じた個人情報流出や誹謗中傷、差別や偏見によるヘイトスピーチも大きな問題となっています。これらの問題に直面した当事者が、心理的に追い詰められ、自ら命を絶ってしまうという事例も起きています。最近では、一度インターネット上のSNSに投稿したら半永久的に残り続けることを意味する「デジタルタトゥー」という言葉も頻繁に使用され、利用者に警鐘を促しています。

いかに優れた仕組みであったとしても、その人の使い次第で良くも悪くもなる。すなわち「どのように使うのか？」といった用途のあり方によって、SNSは便利な道具になることもあれば、危険なサービスになってしまうこともある。こうした状況を鑑み、曹洞宗宗務所は、令和二年十二月に「曹洞宗ソーシャルメディアガイドライン」を策定し、SNSをはじめとするインターネットサービス利用の注意喚起を促しています。詳細については曹

洞宗公式ホームページからご確認いただけたらと思います。さらにSNSとの付き合い方として、『正法眼蔵隨聞記』の教えを引用しています。

学道の人、言を出さんとせんときは、三度顧みて、自利利他のために利あるべければ是を言うべし。

『正法眼蔵隨聞記』

仏道を学ぶ人であれば、言葉を発するとき、何度も顧みて、自利利他のために発言すべきであり、そうでないときは発言を止めるべきであるとお示しになっております。

檀信徒の減少や後継者不足など、仏教界において大きな局面にある中、私はSNSやインターネットを利用した布教教化には大きな可能性があり、今後より一層求められてくるのではないかと感じています。その中で「曹洞宗ソーシャルメディアガイドライン」を遵守し、宗侶としての自覚を持ち、自分とつても相手にとつても本心に大事な情報なのかを、何度も反芻してから発信する必要性が求められています。



# 宗門人が必要なデータに基づきこれからの寺院運営に活かして



大和証券㈱ 法人コンサルティング部 副部長 佐藤 泰之

### ◇はじめに

このたび、曹洞宗宮城県宗務所より、大和証券に現職研修会講師および宗報への寄稿と、大変貴重な機会をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は公益財団法人全日本仏教会と共同で一般の人たちの仏教教団、寺院に対する考え方を調査するために「仏教に関する実態把握調査（以下「実態把握調査」）」を継続しております。この実態把握調査を基に、曹洞宗宮城県宗務所の皆さまにとって有益に活用できると思われる項目を解説いたします。

### ◇コロナ禍で寺院が受けた影響

二〇一九年十二月初旬に世界で初めて感染報告されたコロナウイルス感染症は、現在も全世界に大きな影響を与えています。ご多分に漏れず宗教法人も影響を受けており、特にお寺では法事・法要の減少、縮小により収入面で大きな打撃を受けているのではないのでしょうか。

実態把握調査（図1）から、「お盆法要の布施金額」に関して、コロナ禍で



の東北地域の下落率は例年を一〇〇%とすると三十三・三%まで下落しており、コロナ禍が収束しても今までの水準まで戻らない可能性が高いことがわかりました。また、影響度合いは全国一律ではなく、地域間格差が大きくなっていくことも確認できました。

調査結果からは、数値面（定量データ）での状況しか把握できませんが、地域を理解している方が読み解くことで、この数値、傾向を基に対応策を考えていただけるかと期待しております。

### ◇菩提寺は檀家に連絡しているのか

緊急事態であるコロナ禍において、菩提寺は檀家に連絡したのでしょうか。実態把握調査の結果（図2）を見てみると、「コロナ禍で菩提寺から連絡があった」のは檀家全体の三十六・五%でした。

菩提寺との関わり方で檀家を分類してみますと「自身が中心」となってお寺と関わっている方は五十九・二%が菩提寺から連絡を受けています。一方、「非同居者が中心」となってお寺と関わっている方は二十一・〇%の連絡に留まっております。「非同居者を中心」の七十九・〇%は菩提寺から連絡を受けていないという現実が見えてきます。

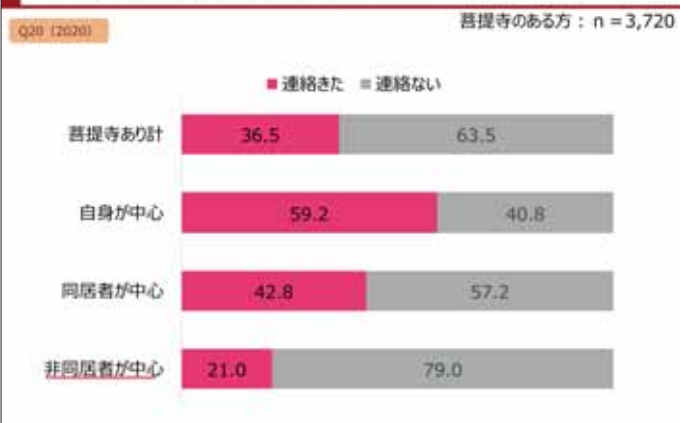
「非同居者が中心」とは、おそらく実家から独立した息子、娘、孫と想定されます。なぜ菩提寺は、この方たちに連絡していないのでしょうか。実家の家長に連絡すれば、それで十分と思っただのでしょうか。それとも菩提寺から連絡はしているのですが、相手が認識していないのでしょうか。

多くの仏教教団は、家制度の崩壊が檀家とお寺との縁が遠くなる一因と分析しております。僧侶の皆さまは、わかっていながら家長にしか連絡してい

ないのでしょうか。

コロナ禍のような緊急事態には、「非同居者が中心」の檀家へ連絡をとることは大切です。菩提寺から連絡がない場合には、「不安で困っているのに、菩提寺は連絡すらくれない」と不満を持たれることが容易に想定されます。「誰に連絡したのか」ではなく、「誰に連絡していないのか」を認識する必要があります。すべての檀信徒をしつかり把握していなければ、誰に連絡していないのかわかりません。次世代の檀家まで把握可能な現在の帳の整備は十分できていますでしょうか。実家から独立して菩提寺とのつながりが薄れた息子・娘・孫の連絡先がわからなくな

(図2) コロナ禍に菩提寺から連絡はきたか？



ているのではないですか。この調査結果からは、複数の問題点が浮き彫りになりました。なによりも、皆さまに考えていただきたいことは、過去から続く檀家とのご縁を皆さまの代で断ち切つて良いのかということですが。

◇お寺のDX

コロナ禍のような特殊な状況下の実態把握調査からは、檀家のお寺離れの要因の一つとして、お寺からの情報発信不足が炙り出されました。皆さまはどのように情報発信されていますか。オンラインツールの活用も選択肢の一つだと思います。

コロナ禍で対面の法要が執り行なえず、オンラインを利用した法要、いわゆるお寺のDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み始めたお寺が散見されます。

調査結果からはオンラインでの利用意向の高い宗教行為は、「法話」三十一・九%、「年忌法要」二十八・三%となっておりますが、実際に利用経験があるのはそれぞれ一・二%、一・一%となっています。お寺の宗教行為に關してのオンライン化を期待している檀家がいる一方で、お寺が檀家の期待に応えていない構図が浮かび上がりました。「教えは五感をもって伝えたいので法要はオンラインで行うべきではない」と主張する僧侶もいらっしゃいます。この意向は理解できますが、檀家にとっては教えを学ぶ機会が無くなります。一方でオンラインでも教えが伝わるよ

うに工夫、努力を続けている僧侶もいらっしゃいます。どちらが大切な教えを伝えられているのか、今後、檀家が判断するのではないかと思います。

◇お寺でのキャッシュレス決済

お寺でのキャッシュレス決済は少しずつ広がりを見せています。キャッシュレス決済とひとまとめにされがちですが、比較的小さな金額を取り扱う支払いと言われている電子決済、交通系カード、金額の大きな決済を取り扱うクレジットカードなど複数の決済手段があります。

お賽銭、お守りなどはペイ払いや交通系カード決済、お布施は少し金額が

大きいためクレジットカード決済が想定されます。

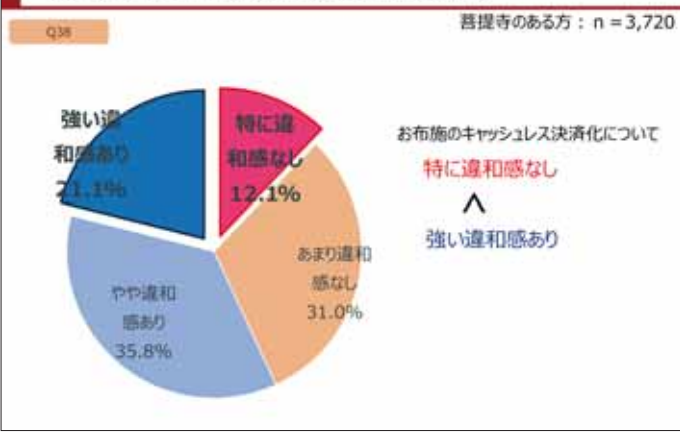
「どのようなキャッシュレス決済なら利用したいか」という調査結果（図3）で、一番比率が高かったのは、「お墓の管理料」五十六・〇%です。ついで、「拝観参拝料」四十七・七%、「お札・お守り・御朱印」四十六・八%となっています。

また、「葬儀布施」、「法要布施」のキャッシュレス決済意向の比率も高く、それぞれ四十六・八%、四十六・一%となっております。この調査結果だけを見ればお布施もキャッシュレス決済導入をすべきと読み取れます。

（図3）どのようなキャッシュレス決済なら利用したいか？



（図4）お布施をキャッシュレス決済化しても良いか？



しかし、「お布施をキャッシュレス決済しても良いか」という調査結果（図4）においては、「強い違和感あり」二十一・一%が「特に違和感なし」十二・一%と二倍の数値格差となっております。二つの調査結果より、現段階では、「お墓の管理料」や「拝観参拝料」などでキャッシュレス決済導入を求められる一方で、お布施に關してはキャッシュレス決済化すべきではないと判断できます。

たくさんある実態把握調査の項目を絞って解説させていただきました。詳細なデータは全日本仏教会ホームページに掲載されており、ご参照頂けましたら幸いです。

◇おわりに

データと聞くと、分析結果を見る前から「わからない」との反応を示す方もいらっしゃいます。データを読み取るのが苦手と感じている方の多くは、数字を個々に理解しようとしているからと推察いたします。データ分析はそれほど仰々しいことでなく、大まかな傾向をつかめれば良いのです。データ分析は大切ですが、もっと大切なことは分析結果を基に皆さまが、これからの寺院運営に活用することです。曹洞宗宗勢総合調査のような貴重なデータを有効に活用するためにも、僧侶一人ひとりがデータや情報に關心を持つことから始めてみると良いのではないのでしょうか。

以上



## 令和3年度曹洞宗宮城県宗務所事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考	月	日	曜日	担当	内 容	場所・備考
4	8	木	宗務所	休務(降誕会)		10	8	金	梅 花	検定委員会	宗務所2階講堂
	19	月	梅 花	養成所初級⑫	宗務所2階講堂		18	月	教 化	寺族会会報編集委員会	宗務所2階講堂
	21	水	梅 花	養成所上級⑫	宗務所2階講堂				センター	第175回禪をきく会	オンライン正午配信開始
	22	木	宗務所	住職勤続祝賀会	宗務所2階講堂		19	火	梅 花	師範研修所④	宗務所2階講堂
	23	金	教 化	第1回所報第104号編集小委員会	宗務所1階会議室				教 化	布教師協議会役員会	宗務所1階会議室
	26	月	宗務所	予備監査	宗務所2階講堂		20	水	梅 花	検定委員会	宗務所2階講堂
	26	月	教 化	第1回布教委員会	宗務所2階講堂		25	月	教 化	護持会正法寺研修会	岩手県 正法寺
	27	火	センター	第172回禪をきく会	オンライン正午配信開始		29	金	教 化	寺族会事務局会	宗務所2階講堂
			宗務所	監査会	宗務所1階会議室		-	-	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会 ※中止	
			人 権	所会運営委員会	宗務所2階講堂		-	-	梅 花	県奉詠大会 ※中止	
			教 化	人権擁護推進委員会 ※中止	宗務所2階講堂	11	1	月	梅 花	養成所初級⑬併設検定会	宗務所2階講堂 宗務所1階会議室
			教 化	宗務所婦人会 ※中止			2	火	梅 花	養成所上級⑬併設検定会	宗務所2階講堂 宗務所1階会議室
5	10	月	梅 花	養成所初級⑬	宗務所2階講堂		8	月	管 区	東北管区役職人員人権啓発研修会(9日迄)	福島グリーンパレス
	11	火	教 化	教化指導員会	宗務所2階講堂		9	火	教 化	布教師協議会 仏の教え 収録日	所長室
	12	水	梅 花	養成所上級⑬	宗務所2階講堂		10	水	教 化	布教師協議会 仏の教え 収録日	宗務所2階講堂
	14	金	宗務所	責任役員会・定例(決算)所会	宗務所		12	金	教 化	所報第105号編集小委員会	宗務所1階講堂
	19	水	教 化	護持会役員会・監査会	宗務所2階講堂		15	月	梅 花	梅花検定会 19日迄	宗務所2階講堂
	26	水	梅 花	梅花流全国奉詠大会 ※中止	長野県		22	月	教 化	師範検定会	16教区 青龍寺
	28	金	管 区	東北管区宗務所役職員連絡協議会 ※書面議決	秋田市 秋田ビューホテル				宗務所	寺族会事務局会	宗務所2階講堂
6	1	火	教 化	護持会総会	仙台サンプラザホール	12	2	木	梅 花	養成所初級上級⑭併設研修会④合同1泊研修会(3日迄)	ホテルニュー水戸屋
	2	水	梅 花	養成所初級⑭	宗務所2階講堂		3	金	宗務所	全国所長会	宗務所
	4	金	梅 花	養成所上級⑭	宗務所2階講堂		6	月	管 区	東北管区宗議・宗務所役職員連絡協議会	ホテルモントレ仙台
	7	月	梅 花	師範研修所①	宗務所2階講堂		7	火	人 権	人権擁護推進委員研修会	宗務所2階講堂
	9	水	青年会	宗務所共催ソフトボール大会 ※中止	仙台市蒲生		8	水	宗務所	休務(釈尊成道会)	
	15	火	センター	第173回禪をきく会	オンライン正午配信開始		10	金	梅 花	企画委員会	宗務所2階講堂
	25	金	センター	第53回教化フォーラム ※中止	ホテルモントレ		21	火	センター	第176回禪をきく会	オンライン正午配信開始
			梅 花	特派講習会 ※中止			25	土	宗務所	休務(年末年始1月10日迄)	
			教 化	特派布教師巡回布教 ※中止			-	-	教 化	所報第105号編集小委員会	郵送校正依頼
			教 化	県寺族会総会 ※書面議決		1	17	月	教 化	布教師協議会主催布教実践講習会	宗務所2階講堂 オンライン・対面受講
			教 化	第2回所報第104号編集小委員会	郵送校正依頼		18	火	保護司会	曹洞宗保護司会常任理事会	新寺清月記
7	1	木	管 区	東北管区教化指導員研修会 オンライン代替受講	未定		19	水	教 化	寺族会事務局会	宗務所1階会議室
	6	火	梅 花	養成所初級⑮	宗務所2階講堂		24	月	宗務所	予備監査会	宗務所1階会議室
	7	水	管 区	東北管区婦人会研修会(令和4年度へ再順延)	岩手県花巻温泉		25	火	教 化	布教実践講習会第二回配信	
	8	木	梅 花	養成所上級⑮	宗務所2階講堂		26	水	梅 花	評議員会	宗務所2階講堂
	12	月	梅 花	師範会	宗務所2階講堂				宗務所	監査会	宗務所1階会議室
	14	水	梅 花	師範研修所②	宗務所2階講堂		28	金	人 権	後継者・災害対策委員会 ※中止	宗務所2階講堂
	29	木	管 区	東北管区人権三者協議会 ※中止	福島県グリーンパレス		31	月	教 化	所報第105号発刊	
	30	金	教 化	所報第104号 発刊			-	-	保護司会	曹洞宗宮城県保護司会新年祝賀会 ※中止	新寺清月記
			教 化	寺族会会報編集委員会	宗務所2階講堂	2	1	火	管 区	東北管区人権主事連絡協議会(2日迄) ※中止	郵送にて実施
8	10	火	宗務所	盆休務(22日迄)			2	水	梅 花	養成所上級⑯	宗務所2階講堂
	21	土	教 化	徒弟研修会 ※中止	宗務所2階講堂		8	火	宗務所	所会運営委員会	宗務所2階講堂
	26	木	保護司会	保護司会 監査会・総会	宗務所2階講堂		10	木	教 化	寺族会研修会 ※オンライン配信	宗務所2階講堂
	27	金	梅 花	構報委員会	宗務所2階講堂		14	月	梅 花	師範会 ※中止	宗務所2階講堂
9	8	水	センター	第54回教化フォーラム ※中止	ホテルモントレ		15	火	センター	第177回禪をきく会	オンライン正午配信開始
	13	月	梅 花	師範研修所③	宗務所2階講堂		16	水	宗務所	休務(釈尊涅槃会)	
	13	月	布教師	布教師三部会	サンプラザホール		25	金	教 化	第2回布教委員会	宗務所2階講堂
	14	火	センター	第174回禪をきく会	オンライン正午配信開始		28	月	梅 花	研修所講師会議	宗務所2階講堂
	15	水	教 化	寺族会会報編集委員会	宗務所2階講堂		-	-	梅 花	特別講習会 ※中止	
	18	土	宗務所	休務日(秋彼岸)26日迄		3	2	水	梅 花	養成所初級⑰閉所式	宗務所2階講堂
	28	火	梅 花	養成所初級⑰	宗務所2階講堂		3	木	梅 花	養成所上級⑰閉所式	宗務所2階講堂
	29	水	教 化	寺族会会報編集委員会	宗務所2階講堂				宗務所	全国所長会・実務担当者会議(4日迄)	宗務所
	30	木	センター	教化センター教化活動推進/企画委員会	リモート				センター	教化センター教化活動企画/推進委員会(9日迄)	宮城県(仙台市)
			管 区	東北管区集会 ※中止	青森県		8	火	管 区	東北管区寺族会役員会・監査会	オンライン
			宗務所	曹洞宗宗門護持会評議委員会 ※中止	宗務所		9	水	宗務所	教区長会	宗務所2階講堂
10	1	金	管 区	東北管区寺族研修会 ※書面議決			15	火	宗務所	全国人権擁護推進主事研修会(10日迄)	オンライン
			宗務所	監査会	宗務所1階会議室		16	水	梅 花	構報委員会 ※中止	宗務所2階講堂
			保護司会	曹洞宗保護司会総会 ※中止	新寺清月記		18	金	宗務所	休務(春彼岸24日迄)	
	4	月	梅 花	養成所初級⑱	宗務所2階講堂		28	月	梅 花	次期養成所講師打合せ	宗務所2階講堂
	5	火	梅 花	養成所上級⑱	宗務所2階講堂						

令和4年度曹洞宗宮城県宗務所事業計画（案）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

Table with columns: 月, 日, 曜日, 担当, 内容, 場所・備考. It lists various activities such as training courses, meetings, and conferences across different months from April to March.



第一教区

保壽寺 住職 伊藤 孝裕  
「陰翳礼讃」

谷崎潤一郎著  
発行／中公文庫



天地が和合し陰陽の気が交われば万物が形成され、万物の中に人が存在する。江戸後期『天地人』と呼ばれる思想である。寺院が雅致ある場所である理由のひとつに、深く廣い蔭の中に構造を取り込み、永劫不変の閑寂がその暗がりを領す中で、唐紙の肌理に吸い取られた外光が、柔らかに黄金の仏像を照らし、その教えに触れようと人々を三昧境に惹き入れるものであるが故と考える。私が見る麗筆のひとつであり、また、この度、当寺改修工事にあたり、原点に返り、数十年来の時を経て、読み返してみた。日本的な美はもとより、佛教のための人生であり、人生のための佛教でないという道元禅師の思想、さらには昨今の人権問題に対する答えを導くための指南書とも多角的に捉えることが出来る名著である。



第二教区

江巖寺 住職 我妻 俊道  
「思いがけず利他」

中島岳志著  
発行／ミシマ社



他者を思いやり行う「利他」について、落語をはじめ多様な切り口から、政治学者である著者が丁寧に紐解いていきます。親鸞上人に大きな影響を受けた著者は、「縁起」や「無我」の教え、更には死者を弔うことと利他との関係性にも触れていきます。自分の行為が相手の為になっているのか、本当のところは分かり得ないこの「私」が、どのように利他と向き合えばよいのか、背中を押してくれるような内容です。  
「他者のために」という自分の計らいを超えて、「思いがけず」身が動くことが利他の本質である、と言う著者の言葉は、「唯単々に利行に催おさるる」という修証義の一節にも通じるように感じ、興味深く読み進めた一冊でした。

# 「精進料理」

## 筍の木の芽和え

岩手県 正法寺 典座 高橋 哲行

### 【材料】

- ・ 山椒の葉 10枚程度
- ・ 白味噌 30g程度

### 【作り方】

1 山椒の葉をすりおろします。



2 白味噌を入れて混ぜ合わせます。



3 灰汁抜きをして切った筍と和えれば完成です。





# 教化指導員 (任期 R4.4.1~R6.3.31)

教区	寺番	寺院名	氏名	役職
1	11	宗禅寺	岩井太秀	
1	81	昌林寺	松山宏成	
2	22	光寿院	阿部真龍	代表
2	25	龍泉院	浅沼良智	事務局
3	38	雲洞院	小松諒広	
4	102	吉祥寺	田村顕裕	会計
5	121	宝泉寺	佐藤拓也	
5	129	自得寺	丹羽宜法	
6	145	徳蔵寺	曳地徳宣	
7	166	観音寺	小野寺太彦	
8	203	洞雲寺	田崎元章	
9	250	妙伝院	青木崇玄	
10	247	東光寺	宮本瑛二	
11	287	高福寺	吉田裕喜	
12	348	満照寺	畑山泰賢	
13	296	龍洞院	坊澤興淳	
14	360	林昌院	吉田亮顕	
15	382	清水寺	酒井禅悦	
16	400	地福寺	片山宏洋	
17	444	吉祥寺	菅原顯宗	
18	447	安養寺	小野寺拓仙	
19	156	常因寺	岩淵義慶	
20	226	真昌寺	笠神英章	副代表
21	68	安養寺	小石川一幸	

## 事業予定

<p>5月16日</p> <p>第1回教化指導員協議会 (於:宗務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R3年度活動報告・決算報告</li> <li>● 委嘱状交付 (管長辞令)</li> <li>● 代表・副代表・事務局・会計の互選</li> <li>● R4年度活動計画・予算案</li> <li>● 今後の活動予定の確認</li> </ul>
<p>7月19日</p> <p>布教師特設検定会に向けた勉強会の実施</p>
<p>7月28日</p> <p>徒弟研修会 (宗務所主催) の共催 (於:②光壽院)</p>
<p>ビープレイブの実施</p>
<p>第2回教化指導員協議会</p>
<p>布教活動従事報告書提出 (宗務庁) R5年3月31日</p>

多賀城には、仏教の力で東北地方の安定を図るため建てられた史跡多賀城跡の付属寺院として多賀城廃寺跡があり、多賀城と同時に創建されました。

講堂を正面とし、大宰府の付属寺院である観世音寺と似た建て方をしており、二キロメートルほど西側では、「観音寺」と墨書された土器が発掘されたことから、多賀城廃寺は当時「観音寺」であったと考えられています。

その後、二度の火災により、そのほとんどを焼失したため、現在はそれを示すものは残っていません。

現在の本堂は一九六六年に入寺した二十六世宣昭大和尚によって再建されました、本堂には、東大寺の延命地藏をモデルとし、樹齢千年のクスノキで作られた「延命地藏菩薩座像」が祀られています。



第三教区

## 化度寺沿革

高崎山 化度寺住職 根来 興宣

表紙写真説明

化度寺がある多賀城市は、約一三〇〇年前の奈良時代に、政府の支配の及んでいなかった東北地方を統治するための役所「多賀城」が置かれたまちです。

当時の行政機関である「国府」と、兵士の駐屯・監督場所である「鎮守府」が置かれ、東北の政治・軍事・文化の拠点として栄えました。

化度寺は、この観音寺の付属寺院として建立された寺院といわれています。現在の高崎廃寺跡地近くに置かれていました。

曹洞宗として新たに開基されたのは一四六五年のことで、高崎彦三郎盛忠が、仙台市新寺大林寺の四世雪橋大積大和尚の勧めに従い、現在の場所に築いたといわれています。

その後、二度の火災により、そのほとんどを焼失したため、現在はそれを示すものは残っていません。

### 新命住職

第六教区 149番

喜松院 村上尚幸師 R4・3・2

第九教区 231番

富光寺 木村道隆師 R4・6・1

### 結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

第十教区

264番 玄松院

(令和4 夏・前・初会)

法幢師 三浦 正恵師

首座 金田 諦惇兄

第十八教区

460番 黄金寺

(令和4 夏・前・初会)

法幢師 最上 良元師

首座 高橋 万理兄

第二十教区

217番 高泉寺

(令和4 夏・前・初会)

法幢師 花山 真龍師

首座 工藤 寛慶兄

第二教区

17番 大蓮寺

(令和4 夏・中・初会)

法幢師 桑原 賢龍師

首座 我妻 俊武兄

第六教区

140番 眞龍院

(令和4 夏・中・初会)

法幢師 齋藤 完道師

首座 留守 龍樹兄

### 遷化

(謹んで弔意を表します)

第五教区

133番 R4・1・1

龍泉院住職 佐藤 正隆師 79歳

第十六教区

404番 R4・2・7

興福寺東堂 須田 智修師 99歳

第二教区

33番 R4・6・13

玄光庵東堂 伊串 昇顯師 93歳

### 逝去

(謹んで弔意を表します)

第十七教区

431番 R3・9・27

長興寺寺族 佐藤 陽子様 93歳

第十七教区

442番 R4・3・3

普門寺寺族 高橋ハマオ様 96歳

第十三教区

297番 R4・7・1

多福院寺族 三輪 榮子様 95歳

※宗務所申請済の情報を掲載

### 所報105号訂正

所報105号11頁の松窓寺沿革の文章に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

沿革1段目の3行目

閑室齡曆↓閑室齡曆

沿革1段目の7行目

伊具郡金津村↓伊具郡金山村

沿革1段目の17行目

松窓慈貞大禪女尼↓松窓慈貞大禪定尼

包装をビニール袋にし、  
送付状を割愛致しました。

### 編集後記

見えない敵と戦ってきた三年間。型を換えて人類を脅威に追い込んできたコロナウイルス。最新の医療を持ってしても未だ勝利が見えてこない。現職研修会では先の世界大戦で死亡した人数を教わった。これからも数字に翻弄される日常が続くことだろう。  
(T記)

宗務所長名の檀信徒用  
感謝状弔辞を準備しております。  
お問い合わせください。